

# 江戸バス運行 変更計画案

## 1 江戸バス運行計画変更案の検討

### 1-1. 検討の進め方

- ➡ 現在の江戸バスの運行計画に対して、運行後得られた意見や課題、利用実態調査・利用意向調査結果を踏まえて、江戸バス導入の際の基本方針に対する課題を整理したうえで、本年度見直しを行う事項について整理した。

#### <検討課題の整理>

- ・江戸バス導入にあたっての基本方針を踏まえ、江戸バスへの乗り込みアンケート調査で得られた結果や、現在の江戸バスの運行計画に対して寄せられた意見や要望をもとに、現在の運行計画に対する課題や意見を整理。
- ・整理結果をもとに、平成23年度に対応する事項についてその理由や変更の可否を検討し、運行計画変更案を設定。

### 1-2. 運行計画の変更箇所

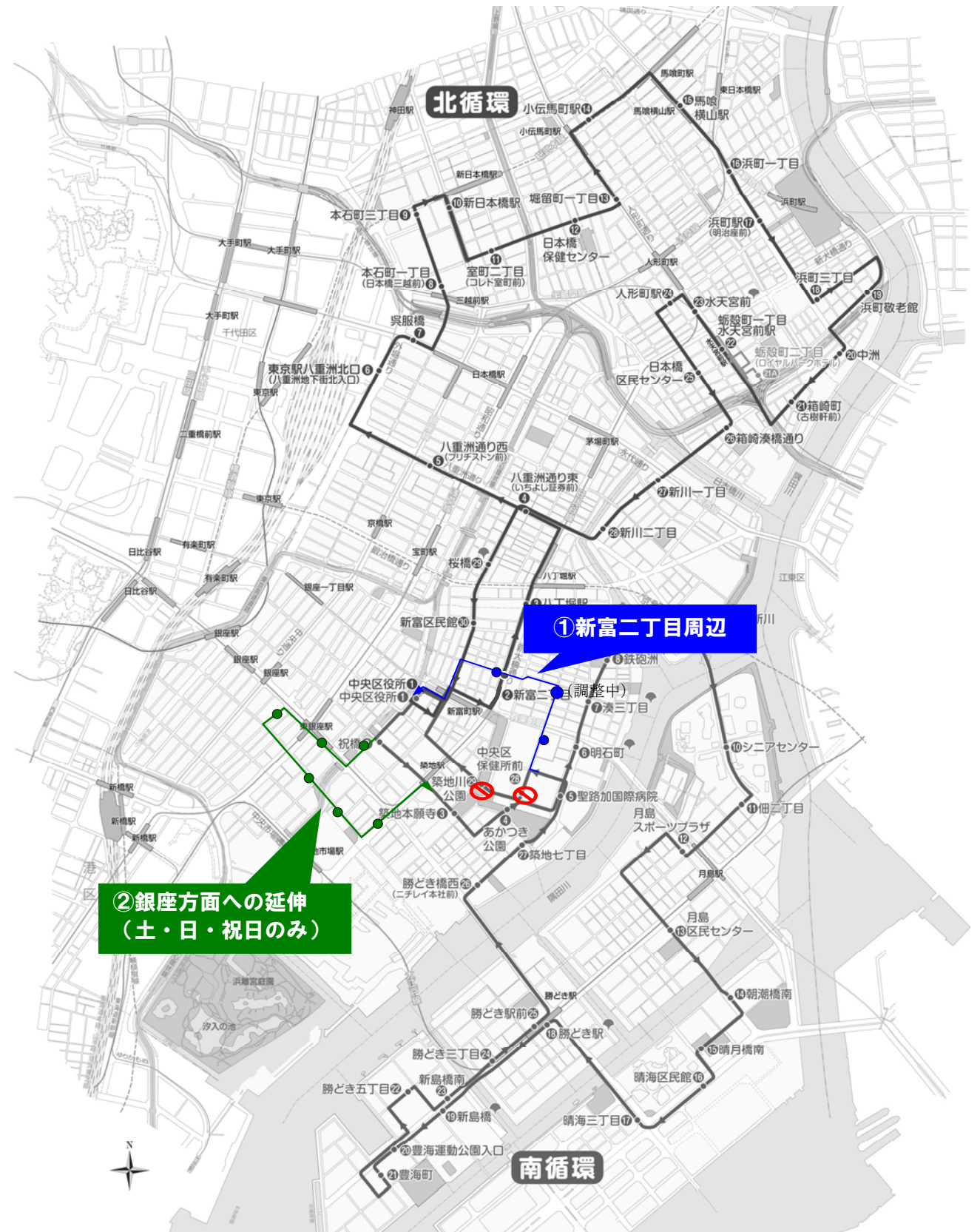
- ➡ 第1回地域公共交通会議で示した、中期的な江戸バスの運行計画の課題（P7参照）のうち、平成23年度は以下の2つについて変更計画案を作成した。

項目	課題・ニーズ	変更方針	対応する基本方針
①新富二丁目周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央区役所での乗継時間を短くしてほしい</li> <li>・湊、入船を経由して中央区役所に戻るルートとしてほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新富二丁目での乗り継ぎを可能とし、南北の乗り継ぎ時間を短縮</li> <li>・リハポート明石等の前を通ることで、施設へのアクセス性を向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;方針1&gt;施設へのアクセス充実</li> <li>&lt;方針3&gt;高齢者などの移動の利便性向上</li> </ul>
②銀座方面への延伸（土・日・祝日のみ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・銀座方面までルート延伸（昭和通り東銀座など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者からの運行の要望が多い銀座地区へルートを延伸</li> <li>・区民の買物目的等での利用の利便性向上を図る</li> <li>・築地社会教育会館の前を通ることで施設へのアクセス性向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;方針1&gt;施設へのアクセス充実</li> <li>&lt;方針2&gt;公共交通サービスの補完</li> <li>&lt;方針3&gt;昼間居住者や区外からの来街者の移動の利便性向上</li> <li>&lt;方針4&gt;商業観光の振興</li> </ul>

#### ■江戸バス導入の基本方針

- <方針1>施設へのアクセスを充実することにより、利便性の向上を図る
- <方針2>区内の交通不便エリアを連絡し既存公共交通と連結することにより、公共交通サービスを補完し、充実を図る
- <方針3>高齢者など昼間居住者や区外からの来街者の移動の利便性を改善する
- <方針4>高齢者等の健康維持、地域コミュニティの活性化、商業観光の振興に貢献する
- <方針5>地域の足となるよう、区民が愛着を持ち支えていく交通とする

### <運行計画変更箇所>



## II 運行計画変更箇所の整理

### ①新富二丁目周辺のルート変更の検討

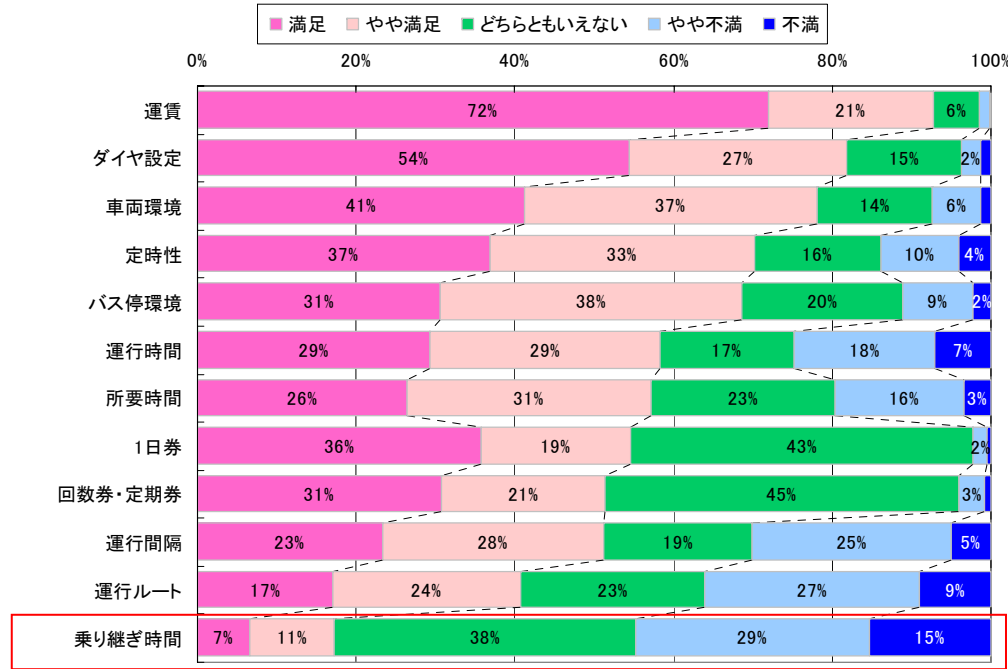
- ➡ 現在、聖路加病院から築地川公園を経由し、中央区役所に戻るルートで運行しているため、湊・入船からのアクセスが不便であり、対応が必要である。
- ➡ そのため、湊・入船から中央区役所・銀座へのアクセスを可能にするとともに、リハポート明石等公共施設へのアクセスの向上や、新富二丁目バス停での南北循環の乗り継ぎを可能とする運行ルートの変更を行う。



＜新富二丁目周辺のルート変更の検討に関する資料＞

■南北乗り継ぎ時間に対する満足度

- 運行仕様に対する満足度をみると、南北循環の乗り継ぎ時間に対する満足度（満足・やや満足の合計）は最も低く20%以下であり、改善が望まれる。



■ルート変更による乗り継ぎ時間の短縮

- 新富二丁目での乗り継ぎを可能とすることで、南循環から北循環への乗り継ぎ時間を、平日で11分、土・日・祝日で7分短縮できる。
- 平日の場合、1本前の北循環のバスへ乗り継ぐことが可能となる。

	南循環⇒北循環		北循環⇒南循環	
	平日	土・日・祝日	平日	土・日・祝日
現在	13分	13分	14分	12分
変更後	<b>2分(11分短縮)*1</b>	<b>6分(7分短縮)*2</b>	14分	12分

\*1：新富二丁目での乗り継ぎ \*2：中央区役所での乗り継ぎ

※ダイヤについては精査中であり、現在の予定を記載

■施設へのアクセス性向上

- 現在、各交通機関からリハポート明石等の複数の福祉施設が併設している建物へのアクセスは、公共交通機関を降りてから5分弱歩く必要があるが、江戸バスのルート変更により、バス停を隣に併設することで、歩いて移動する必要がなくなりアクセス性が向上する。

＜既存の各交通機関からリハポート明石等までの距離と歩行時間＞



■バス停の撤去

- ルート変更により、中央区保健所前、築地川公園のバス停が撤去となるが、利用者も少ないため影響は少ないと考えられる。

	平日	休日	
	9/9（金）	9/10（土）	9/11（日）
中央区保健所前	15人	7人	4人
築地川公園	23人	11人	12人

※なお、中央区保健所前バス停の利用者のほとんどが通院目的での利用であり、聖路加国際病院へ行くために利用していると考えられることから、聖路加国際病院バス停で代替可能。

＜撤去されるバス停の位置＞



②銀座方面への延伸（土・日・祝日のみ）の検討

- ➡ 区民にとって、より地域に根ざした交通手段となるために、買い物や観光等の目的にも対応していくことが必要である。
- ➡ そのため、区民の要望がとりわけ多い銀座地区へ南循環バスを延伸させ、区民の外出機会の拡大や銀座地区の賑わい形成を果たしていくものとする。
- ➡ あわせて、銀座、築地といった観光のポイントをつなぐことで、観光目的での来街者の利便性向上を図り、中央区内の観光振興を図ることとする。

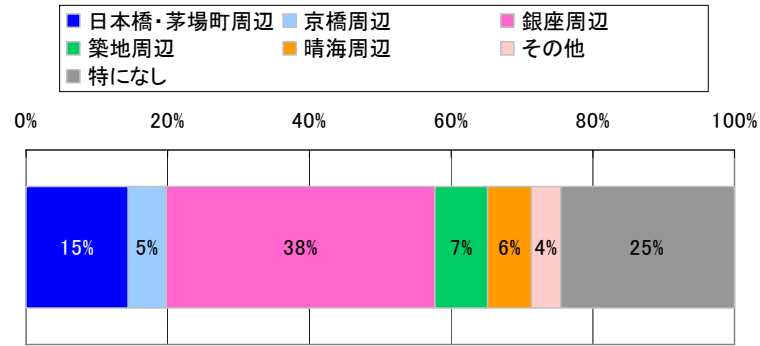


<銀座方面への延伸検討に関する資料>

■江戸バスを運行してほしい地域

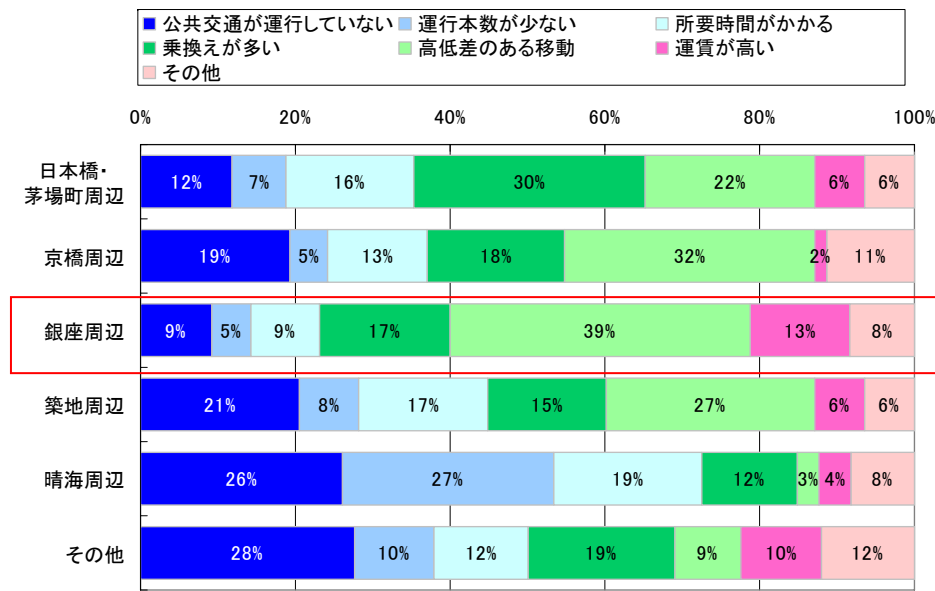
- 平成23年度に行ったアンケート調査で、江戸バスを運行してほしい箇所として、他の地区が10%前後であるのに対して「銀座周辺」に対する要望が最も多く、約40%を占めている。
- 銀座周辺への来訪が不便な理由としては、「高低差のある移動」が39%と最も多く、次いで「乗換えが多い」が17%となっている。既存公共交通で来訪することはできるが、地下鉄等による移動で高低差があり、不便であるためと考えられる。

運行してほしい地区



地区	回答数(人)	シェア
日本橋・茅場町周辺	132	15%
京橋周辺	48	5%
銀座周辺	346	38%
築地周辺	67	7%
晴海周辺	56	6%
その他	37	4%
特になし	224	25%
合計	910	100%

運行してほしい地区別の来訪が不便な理由

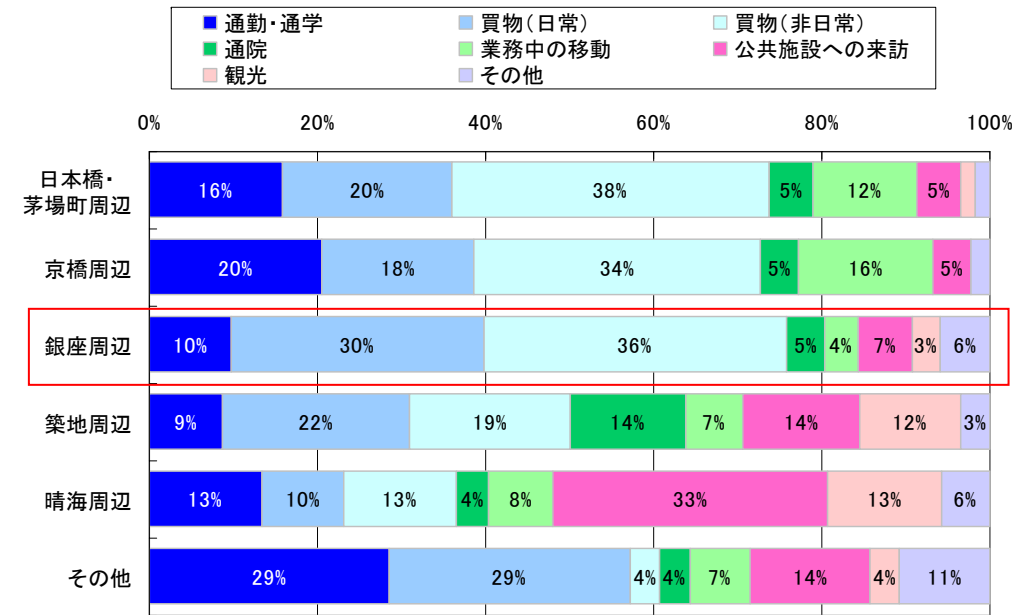


地区	公共交通が運行していない	運行本数が少ない	所要時間がかかる	乗換えが多い	高低差のある移動	運賃が高い	その他	合計
日本橋・茅場町周辺	20	12	28	51	37	11	11	170
京橋周辺	12	3	8	11	20	1	7	62
銀座周辺	38	21	37	70	161	53	35	415
築地周辺	16	6	13	12	21	5	5	78
晴海周辺	19	20	14	9	2	3	6	73
その他	16	6	7	11	5	6	7	58
合計	121	68	107	164	246	79	71	856

地区	公共交通が運行していない	運行本数が少ない	所要時間がかかる	乗換えが多い	高低差のある移動	運賃が高い	その他	合計
日本橋・茅場町周辺	12%	7%	16%	30%	22%	6%	6%	100%
京橋周辺	19%	5%	13%	18%	32%	2%	11%	100%
銀座周辺	9%	5%	9%	17%	39%	13%	8%	100%
築地周辺	21%	8%	17%	15%	27%	6%	6%	100%
晴海周辺	26%	27%	19%	12%	3%	4%	8%	100%
その他	28%	10%	12%	19%	9%	10%	12%	100%

- 運行時の利用目的は、買物（日常・非日常）が65%と、他の地区と比べても高い割合を占めている。
- また、観光目的で利用すると回答した方の運行してほしい地区をみると、約3分の1が「銀座周辺」と回答しており、観光目的での利用者数の増加にもつながると考えられる。

運行してほしい地区別の利用目的



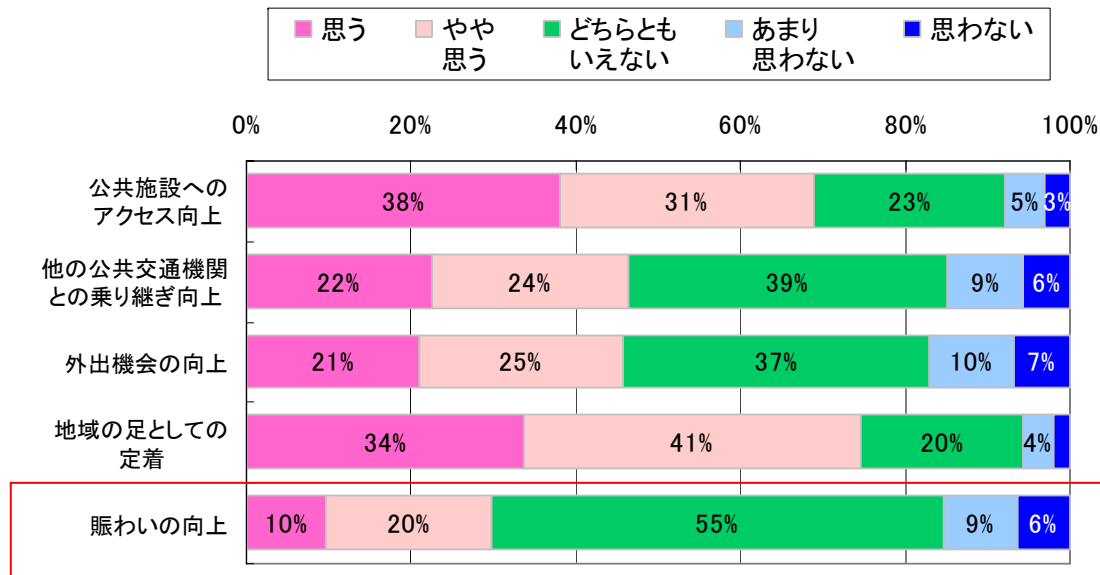
地区	通勤・通学	買物(日常)	買物(非日常)	通院	業務中の移動	公共施設への来訪	観光	その他	合計
日本橋・茅場町周辺	18	23	43	6	14	6	2	2	114
京橋周辺	9	8	15	2	7	2	0	1	44
銀座周辺	30	92	110	14	12	20	10	18	306
築地周辺	5	13	11	8	4	8	7	2	52
晴海周辺	7	5	7	2	4	17	7	3	58
その他	8	8	1	1	2	4	1	3	28
合計	77	149	187	33	43	57	27	29	602

地区	通勤・通学	買物(日常)	買物(非日常)	通院	業務中の移動	公共施設への来訪	観光	その他	合計
日本橋・茅場町周辺	16%	20%	38%	5%	12%	5%	2%	2%	100%
京橋周辺	20%	18%	34%	5%	16%	5%	0%	2%	100%
銀座周辺	10%	30%	36%	5%	4%	7%	3%	6%	100%
築地周辺	9%	22%	19%	14%	7%	14%	12%	3%	100%
晴海周辺	13%	10%	13%	4%	8%	33%	13%	6%	100%
その他	29%	29%	4%	4%	7%	14%	4%	11%	100%

■基本方針の評価

- 平成 23 年度に行ったアンケート調査での、江戸バス導入の基本方針に対する評価のうち、「賑わいの向上」は最も低くなっている。

基本方針に対する達成度



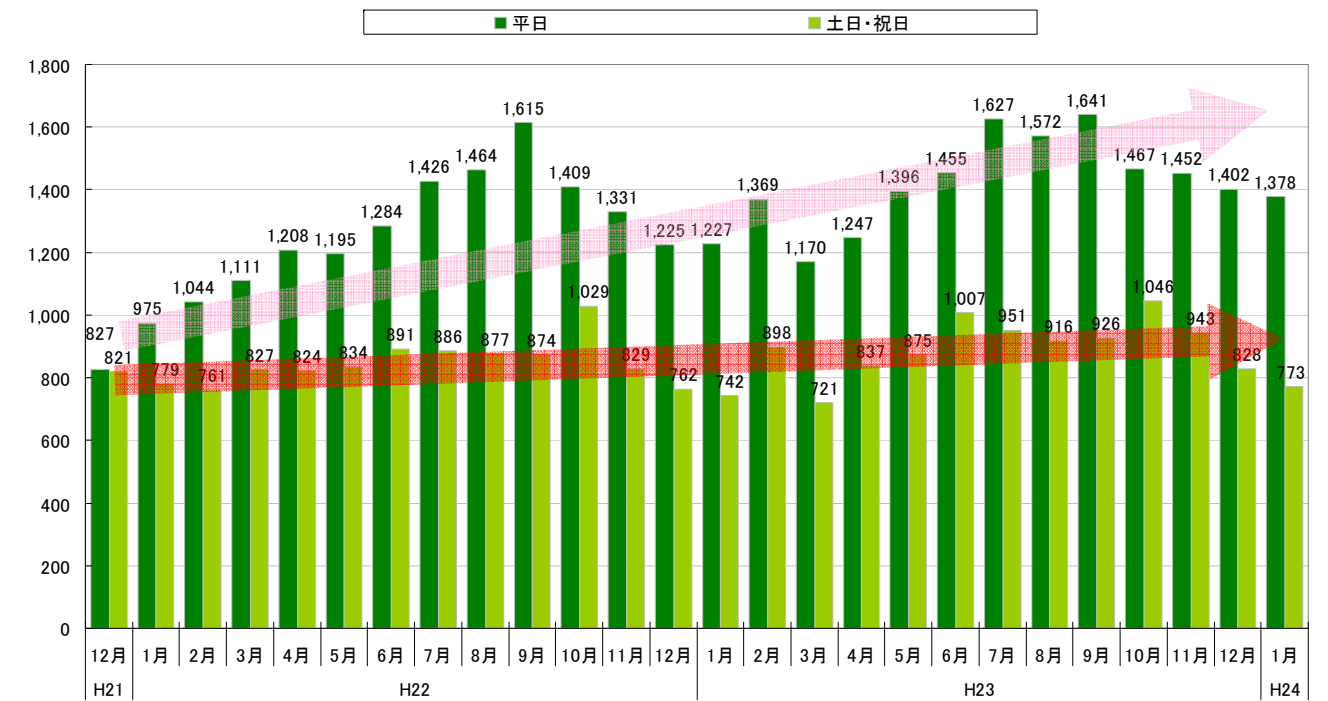
	思う	やや思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	合計
公共施設へのアクセス向上	357	289	217	44	29	936
他の公共交通機関との乗り継ぎ向上	207	220	357	86	52	922
外出機会の向上	194	227	342	93	63	919
地域の足としての定着	315	383	184	35	18	935
賑わいの向上	87	184	501	83	57	912
合計	1,160	1,303	1,601	341	219	4,624

	思う	やや思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	合計
公共施設へのアクセス向上	38%	31%	23%	5%	3%	100%
他の公共交通機関との乗り継ぎ向上	22%	24%	39%	9%	6%	100%
外出機会の向上	21%	25%	37%	10%	7%	100%
地域の足としての定着	34%	41%	20%	4%	2%	100%
賑わいの向上	10%	20%	55%	9%	6%	100%

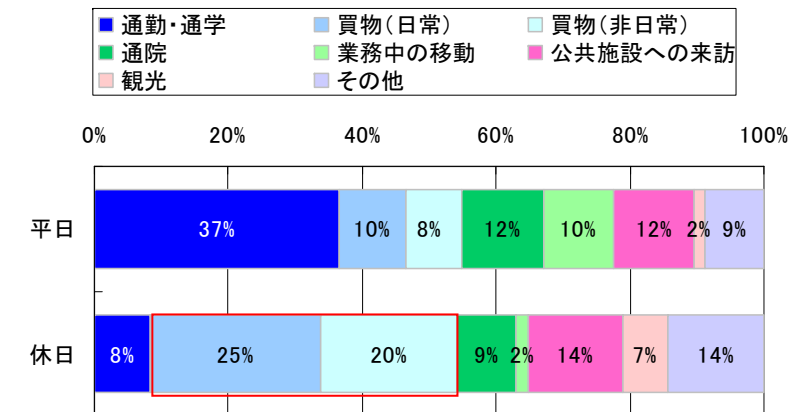
■平日・休日別の江戸バスの利用実態

- 江戸バスの利用客数を平日、土・日・祝日別にみると、平日の利用者は増加しているが、休日の利用客数は900人/日前後で運行開始時からほぼ横ばいである。
- 休日の利用目的をみると、買物（日常・非日常）での利用が半数程度を占めている。
- 地域の足として運行ルートの一層の改善を図るとともに、土・日・祝日の観光目的等を高める必要がある。

平日・休日別の江戸バスの利用者数



平日・休日別の江戸バスの利用目的



項目	回答数(人)		シェア	
	平日	休日	平日	休日
通勤・通学	206	55	37%	8%
買物(日常)	57	166	10%	25%
買物(非日常)	47	132	8%	20%
通院	69	58	12%	9%
業務中の移動	59	12	10%	2%
公共施設への来訪	67	93	12%	14%
観光	9	43	2%	7%
その他	50	94	9%	14%
合計	564	653	100%	100%

III その他検討事項への対応

- ◎ ここまでに整理した運行ルートの変更計画の検討を含め、第一回公共交通会議で提示した、江戸バスの運行に関して中期的に取り組むべき項目及び、今年度得られた意見等から整理した課題について、今後の検討方針を整理する。

項目		課題・ニーズ	対応方針
運行時間		◎ 最終便の運行時間をもう少し遅くする	▶ 利用実態の詳細を分析した上で、必要性や経費等を考慮して今後も検討する。
乗継時間		◎ 中央区役所での乗継時間を短くしてほしい	【今年度対応】 ○南循環の運行ルートを変更し、新富二丁目での南循環と北循環の乗り継ぎを可能とすることで、南循環から北循環への乗り継ぎ時間を短縮する。
運行ルート・系統		◎ 呉服橋から日銀の間を三越のにんべんの通りに右折	▶ 利用者が増加傾向にあることや、駅への接続の良さなどから、継続して利用者数の推移を把握し検討する。
		◎ 新川二丁目で乗り継ぎ可能となるルート（現在は乗り継ぎ券を発行）	▶ 大幅なルート変更を伴うため、長期的に取り組む項目とする。
		◎ 湊から銀座にアクセスできるルート ◎ 銀座方面までルート延伸（昭和通り東銀座など）	【今年度対応】 ○土日・祝日のみ、銀座五丁目周辺まで南循環を延伸し、区内移動の利便性と区民の外出機会を向上させ、更にはまちの賑わい向上を図り、地域に根ざしたコミュニティバスとしての機能を高める。 ○あわせて、観光目的での来街者の利便性を向上し、中央区内の観光振興へつなげる。
		◎ ほっとプラザはるみへのアクセス	▶ 環状2号線建設工事の状況を踏まえながら検討する。
		◎ 1ルートの循環時間が長いため、現在の2ルートを分割するなどして所要時間を短くしてほしい ※	▶ 利用状況やそれに伴う総収支額の整理を引き続き行い、効率性や利便性を分析し、長期的に検討する。
		◎ 南北ルートを横断するルート ※	
バス停環境	バス停設置箇所	◎ もんじゃ街バス停の再検討	▶ バス停設置に向けて、引き続き地元との調整をする。
	バス停名称	◎ 鉄道駅と接続するバス停はバス停名称を「○○駅」とする。（もしくは車内アナウンスなどの対応）	▶ 施設名との併記や車内アナウンスなどの対応を検討する。
	バス停施設	◎ バス停に屋根やベンチを設置してほしい ※	【今年度対応】 ○ベンチについては、平成23年度、5箇所のバス停へ設置。 ▶ バス停屋根については、道路状況等を考慮して検討する。
		◎ バス停の位置がわかりにくい ※	【今年度対応】 ○平成23年度、25箇所のバス停に対応する。
◎ バス停の標識の向きが道路に対して平行に立っている			

※については、今年度新たに追加した項目

### IV 運行計画の変更

これまでの検討を踏まえ、以下のとおり運行計画を変更する。なお、変更時期については、平成24年7月を予定している。

#### ■北循環・南循環それぞれの運行仕様

・南循環、北循環それぞれの運行仕様は以下に示すとおり。

##### 【現在の運行仕様】

運行概要（北循環）	
ルート長	平日：約10.8km 土・日・祝：約11.2km
所要時間	平日：約68分/周 土・日・祝：約70分/周
運行間隔	20分
バス台数	4台
運行時間帯*1	平日・土：6:58～18:38 日・祝：7:58～18:38
バス停間隔	約340m
バス停数	31(32)箇所*2

運行概要（南循環）	
ルート長	約10.3km
所要時間	約65分/周
運行間隔	20分
バス台数	4台
運行時間帯*1	平日・土：7:00～18:40 日・祝：8:00～18:40
バス停間隔	約340m
バス停数	29(30)箇所*2

\*1 いずれも中央区役所発時間

\*2 「中央区役所」バス停は、南北循環両方に含める。( )内は、バス停の述べ数

\*3 図上計測の数値を記載

※ダイヤは精査中であり、所要時間・運行時間帯は現在の予定を記載

#### ■乗り継ぎ時間

・南北循環の乗り継ぎ時間は以下のとおり。

・新富二丁目での南循環から北循環への乗り継ぎが可能となる。

	南循環⇒北循環		北循環⇒南循環	
	平日	土・日・祝	平日	土・日・祝
現在	13分	13分	14分	12分
変更後	<b>2分(11分短縮)*1</b>	<b>6分(7分短縮)*2</b>	14分	12分

\*1：新富二丁目での乗り継ぎ

\*2：中央区役所での乗り継ぎ

※ダイヤについては精査中であり、現在の予定を記載

##### 【変更後の運行仕様】

運行概要（北循環）	
ルート長	
所要時間	
運行間隔	※変更なし
バス台数	
運行時間帯*1	
バス停間隔	
バス停数	

運行概要（南循環）	
ルート長*3	平日：約11.0km 土・日・祝：約12.2km
所要時間	平日：約65分/周 土・日・祝：約72分/周
運行間隔	20分
バス台数	4台
運行時間帯*1	平日・土：7:00～18:40 日・祝：8:00～18:40
バス停間隔	平日：約330m 土・日・祝：約320m
バス停数	<b>36(37)箇所*2</b>

### 変更後の運行ルート案

